



宮園 香織 さん (44)

# まくひとしごと 枕崎 × 人 × 仕事 No.26

NPO法人 子育てふれあいグループ自然花 / 美山町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。今月は、木口屋集落で枕崎の子育てを支える子育てふれあいグループ自然花取材しました。



自然あふれる木口屋集落で、平成21年から子育て支援活動を行っているNPO法人子育てふれあいグループ自然花(以下、自然花)。今回は、自然花創設からのメンバーである宮園香織さんを取材しました。大口市(現伊佐市)出身の宮園さんは、地元の小中学校、高校を卒業後、鹿児島国際大学の社会福祉学科へ進学しました。大学で学んでいくうちに、子どもたちと関わる楽しさを感じ、問題を抱える子どものサポートがしたいと、大学卒業後は南九州市知覧町の児童養護施設で働き始めました。宮園さんの転機は30歳の節目のとき。少し違う仕事をしてみたい、もしいかなと考えていたところ、同じ児童養護施設で働いていた大脇治樹さん(現自然花理事長)

から自然花立ち上げの話聞き、親子が共に成長していくお手伝いできたならと創設メンバーに加わることになりました。木口屋集落での事業立ち上げは、地元住民との関係づくりから始まりました。空家を借りて集落に住み、奉仕作業などの地域活動を一緒にやっていくことで、地域の方たちにも自然花の活動を手伝ってもらえるようになり、今ではまるで自分の子どもと接するように農業やめんつゆづくりなど、いろいろなお話を教えてもらえるようになったと振り返ります。また、児童養護施設での決まった仕事とは違い、チラシ作りや農作業など初めて挑戦することばかりで、最初はうまくいかないこともありました。地域の皆さんにも助けてもらいながら少しずつできるようになってきました。そんな中で、体験活動等で子どもや保護者の方々と関われることや、リーダーとして利用してくれる子どもたちの成長を感じられることにやりがいを感じると宮園さんは話しました。

近年、コロナ禍で規模を縮小していた自然花まつりが12月11日に通常規模で実施されます。ぜひ親子で楽しい時間を過ごしてほしいかがでしょうか。

地域おこし協力隊 活動レポート

# 協力隊が行く!



## 今月の担当は おおはし隊員です!

こんにちは、地域おこし協力隊の大橋佑輔です。今回は、鹿児島島の出身で横浜からUターンし、枕崎で起業した味園さん夫妻に移住の経緯や枕崎への想いなどを伺いました。



### 美和子さんが思う枕崎

横浜で暮らしている時に、鹿児島島の食材は高く評価されていると感じていました。しかし、枕崎へ帰ってきて、枕崎でいいものを作っている方は多くいるのに、あまり知られていない印象があり、そんな方たちの助けになればとの想いもあって、地元の食材を中心

にした商品開発をはじめました。その中で、果実シユガーが鹿児島新特産品コンクール入賞に続き、今年、枕崎産の無農薬緑茶を使用したフリーズドライキューブのお菓子が、鹿児島県新作観光土産品コンクールで奨励賞を受賞したのとても励みになりました。和行さんからみた移住への道 コロナ禍以降、会議等をオンラインで行うこともあたりまえになり、移住して働く手段としてIT関係の仕事は相性が良いと感じています。ただ、1人で請け負える仕事には限界があるので、枕崎でITの分野に長けた人でつながりを作って、外からくる人を支援できる体制を構築することができれば、移住希望者にもっとアピールできると思います。

### どこにいても夢はかなう

和行さんのIT開発系の仕事はオンラインで可能なため場所は選びません。また、美和子さんの食品加工販売の仕事でも、インターネットでの販路や、つながりを活かしてシンガポールの無印良品の店舗「MUJI Plaza Singapore」で販売されるなど、枕崎から国を超えて広がりを見せています。その身をもって「どこにいても夢はかなう」ことを子どもたちにも伝えていきたいと話す味園さん夫妻に、移住定住の明るい未来を感じる取材になりました。

## 市長

# コラム

vol. 43



### 本を読む。(広がり)

「趣味は読書です。」趣味を尋ねられたら、そう答えるようにしています。とは言っても、「本を読む」ということを趣味と言えようになつたのは大学生になってからです。先月のコラムで「時間と知恵をいただくこと」が読書の効用であると書きました。一冊の本の中に、書いた人の思い、知恵、体験、いろんなものが詰まっています。書き手が長い歳月をかけて手に入れたものを、たった数日、数時間の読む時間の中で手に入れられる。ありがたい。

佐世保市生まれの芥川賞作家の小説でスタートした私の読む習慣は、さまざまなジャンルに広がっています。社会人となって仕事を始めてからは、仕事で役に立ついろいろな本を読みました。まさに、自分自身では簡単に手に入れない多くの知恵、学びを手に入れて、自分の仕事の質を高めることに使った、そんな読書が多かったように思います。それと自分のペースで読むことのできる読書は、時間の使い方のトレーニングにもなります。仕事に役立つ本を読みながら、同時に小説やエッセーなどを読む。今は同時に読みかけの本が2、3冊という状況が普通になっています。仕事などで急いで読んでおきたいものは早めに読み進める、ゆつくりと楽しんで読みたいものは寝る前の少しの時間に少しずつ読み進めるなど、自分のペースで本に親しむことで時間の使い方も鍛えられます。

私の読書はいろんなジャンルに広がっていると書きましたが、今は「日本人」や「日本」に興味に向いています。先月、今月にわたつてこのコラムで「本を読むこと」について書きました。また機会があったら読書について書きたいと思っています。

## 市営野球場で小・中学生向けの野球教室を開催

市営野球場において、元プロ野球選手による小・中学生向けの野球教室を開催します。

当日は、市内の野球スポーツ少年団の選手たちが参加し、指導や助言をいただくことになっています。

なお、当日参加も可能な場合があります。詳細は次のとおりです。

- 日時 11月13日(日) 13時～15時
- 場所 市営野球場
- 指導者 元ソフトバンクホークス 川崎宗則選手(内野手) 新垣渚選手(投手)

## 「海」に関する作品展

枕崎市内の小中学校の児童生徒による「海」をテーマとした作品を展示します。

- 会期 11月15日(火)～27日(日)
- 会場 南浜館
- 観覧料 無料

## 「アートのまち・枕崎 お散歩 写真入門」作品展

10月16日(日)と10月23日(日)の2日間、市役所通りなど「アートストリート」を会場に開催された「アートのまち・枕崎 お散歩写真入門」の県写真協会会長・村上光明氏を講師に招き、参加者が撮影した作品の作品展を開催します。

- 会期 11月29日(火)～12月8日(木) ※月曜日休館
- 会場 南浜館(第1展示場)
- 観覧料 無料



## スポーツ・文化 イベント情報

- 南浜館
- 開 9:00～17:00 ※入館は16:30まで
- 休 毎週月曜日 ※月曜日が祝祭日の場合は翌日
- 問 スポーツ・文化振興課 TEL72-9998